

## ※和泉市における水道料金、下水道使用料の福祉減免の状況

### 〈制度概要〉

- ・平成元年 7 月 1 日制度施行
- ・目的は、福祉世帯の経済的負担を軽減し、生活の安定と福祉の増進を図ること（消費税導入による経済的負担増に対する救済策）
- ・平成 22 年 4 月 1 日から区域外福祉助成制度施行（同時に区域内も一般会計施策として実施）
- ・平成 27 年度から和泉躍進プランの関連により、区域内について一般会計からの補助が廃止となり、現在に至る
- ・対象世帯は、ひとり親世帯、高齢者世帯、重度障がい者世帯
- ・ひとり親世帯の要件は、児童扶養手当証書又はひとり親家庭医療証を所持
- ・高齢者世帯の要件は、世帯全員が 65 歳以上、ただし配偶者は 65 歳未満も可
- ・重度障がい者世帯の要件は、身体障がい者手帳（1、2 級）又は療育手帳（A 級）、精神障がい者保健福祉手帳（1 級）を所持
- ・世帯のすべての方の前年度にかかる市民税が非課税又は均等割の世帯（生活保護世帯、中国残留邦人等世帯、福祉施設入所者、市府民税・水道料金・下水道使用料を滞納している世帯は除く）

### 〈減免・助成額〉

- ・水道料金の基本料金（550 円/月）、下水道使用料の基本料金（572 円/月）及び 1 か月あたりの汚水量が 10 m<sup>3</sup>までの従量料金（～最大 1,188 円/月）
- ・他市給水・他市下水道の世帯は実際の支払い額（和泉市基本料金が上限）

### 〈減免・助成状況〉

○令和 2 年度

#### 〔水道料金福祉減免・助成額〕

項 目	ひとり親世帯	高齢者世帯	障がい者世帯	合計
和泉市給水区域分（円）	3,152,025	16,444,525	3,415,690	23,012,240
区域外給水分（円）	20,247	218,070	31,350	269,667
合計（円）	3,172,272	16,662,595	3,447,040	23,281,907
延べ世帯数	2,470	13,967	2,867	19,304
対象世帯数（年度末時点）	502	2,534	530	3,566
うち和泉市給水世帯数	498	2,494	526	3,518
うち泉大津市給水世帯数	4	34	2	40
うち高石市給水世帯数	0	1	0	1
うち堺市給水世帯数	0	5	2	7

〔下水道使用料福祉減免・助成額〕

項 目	ひとり親世帯	高齢者世帯	障がい者世帯	合計
和泉市給水区区分（円）	5,727,348	27,546,407	5,710,297	38,984,052
区域外給水分（円）	44,260	349,836	42,768	436,864
合計（円）	5,771,608	27,896,243	5,753,065	39,420,916
延べ世帯数	2,152	11,807	2,296	16,255
対象世帯数（年度末時点）	438	2,173	439	3,050
うち和泉市給水世帯数	434	2,143	437	3,014
うち泉大津市給水世帯数	4	29	2	35
うち高石市給水世帯数	0	1	0	1
うち堺市給水世帯数	0	0	0	0

〈参考〉区域外給水各市の上下水道料金基本料金（税込）

【単位：円】

各市	水道基本料金	下水道基本使用料	下水道使用料 10 m <sup>3</sup> /月	備考
和泉市	550	572	1,188	
泉大津市	466	397	1,359	
高石市	500	357	1,281	
堺市	715	731	1,281	

〈府内の実施市町村〉

7 市 1 町（和泉市、泉大津市、貝塚市、泉佐野市、忠岡町【統合】、枚方市、  
富田林市、大阪狭山市【統合】）…詳細は資料番号 7 のとおり

〈大阪広域水道企業団に統合した他市の状況〉

① 泉南市（H30 に統合）

統合後は一般会計にて対応継続、激変緩和措置として 3 年間（H30～R2）実施し、その後廃止。

② 忠岡町（H30 に統合）

統合後は水道料金等補助事業として実施。生活扶助費の二重給付との考えから生活保護世帯を対象から除外。水道料金納付確認後に年 2 回（10 月末、3 月末）補助金を交付。

③ 大阪狭山市（R3 に統合）

統合後も福祉減免を実施、大阪狭山市（一般会計）から大阪広域水道企業団に委託している。（⇒R4 当初予算額 3,472 万円）